

行政評価の取組結果

(令和元年度実績)

令和2年8月

北九州市総務局

1 行政評価の概要

本市は、平成20年12月に北九州市基本構想・基本計画である「元気発進！北九州」プラン（以下「プラン」という。）を策定しており、プランを着実に推進する仕組みの一つとして、平成22年度に「行政評価システム」を導入した。

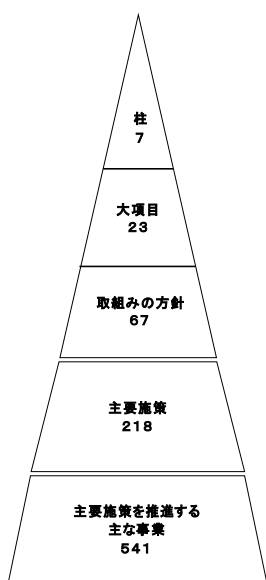
これは、「計画(Plan)→ 実行(Do)→ 評価(Check)→ 改善(Action)」のPDCAサイクルに沿って、行政自ら事業等を検証し、不断の見直しを行うものである。

本報告書は、令和元年度に実施したプランを構成する主な事業について、PDCAサイクルに沿って評価した結果を総括的に示しており、施策の指標、評価、評価理由等を取りまとめるとともに、プランの進捗状況も併せて示すものでもある。

2 事業評価、施策評価の対象

「元気発進！北九州」プランに基づき、令和元年度に実施した事業のうち「主要施策」を構成する主な541事業について、事業を所管する担当課において事業の成果等の検証を実施するとともに、プランに掲げる218の「主要施策」について、事業を所管する局ごとに施策の評価を実施した。

「元気発進！北九州」プラン
の政策体系



「元気発進！北九州」プランの柱	大項目	取り組みの方針	主要施策	事業
I 人を育てる	3	10	37	99
II きずなを結ぶ	3	11	41	136
III 暮らしを彩る	3	9	29	77
IV いきいきと働く	4	11	39	95
V 街を支える	3	9	24	53
VI 環境を未来に引き継ぐ	4	9	28	50
VII アジアの中で成長する	3	8	20	31
合計	23	67	218	541

3 評価の進め方

(1) 事業評価

プランを推進する主な事業について、事業の成果や進捗を示す指標を踏まえ、事業が目指すべき「成果」に対する達成状況や進捗状況を「大変順調、順調、やや遅れ、遅れ」の4段階で各事業所管課が自己評価を行った。

(2) 施策評価

各局において、施策を構成する事業の評価結果などを踏まえ、施策の達成状況について、「大変順調、順調、やや遅れ、遅れ」の4段階で自己評価を行った。また、評価を受けての令和3年度予算に向けた施策の方向性も合わせて掲載した。

(3) 評価担当部署の内部チェック

各局の検証結果について、評価担当部署として内部チェックを行っている。

4 事業・施策評価結果

(1) 事業（541事業）

・成果の状況

評価	事業数
大変順調	68事業
順調	436事業
やや遅れ	20事業
遅れ	17事業

(2) 主要施策（218施策 ※）

評価	施策数
大変順調	24施策
順調	240施策
やや遅れ	8施策
遅れ	4施策

※ プランに掲げる218の「主要施策」について、複数の局が所管する施策が一部あり、結果として276の評価となった。

5 SDGs の 17 の目標（ゴール）について

「SDGs 主なゴール番号」欄には、事業が主に目指しているゴール番号（1つ）を表記。「SDGs ゴール番号」欄には、事業と関連のあるゴール番号（1つ以上）を表記。各ゴール番号の内容は以下の通り。

（所管：企画調整局）

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ① 貧困をなくそう | ② 飢餓をゼロに |
| ③ すべての人に健康と福祉を | ④ 質の高い教育をみんなに |
| ⑤ ジェンダー平等を実現しよう | ⑥ 安全な水とトイレを世界中に |
| ⑦ エネルギーをみんなに そしてクリーンに | ⑧ 働きがいも 経済成長も |
| ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう | ⑩ 人や国の不平等をなくそう |
| ⑪ 住み続けられる まちづくりを | ⑫ つくる責任 つかう責任 |
| ⑬ 気候変動に具体的な対策を | ⑭ 海の豊かさを守ろう |
| ⑮ 陸の豊かさも守ろう | ⑯ 平和と公正をすべての人に |
| ⑰ パートナリーシップで目標を達成しよう | |